

## 平成30年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	12	8.0	10	12	8.0	10
鴨川	新大宮バイパス線下	8.5	4.2	6.5	8.5	4.2	6.7
	加茂川橋	9.3	4.2	6.3	9.3	4.2	6.4
	学校橋	14	4.3	8.4	14	4.3	7.8
	中土手橋	9.7	4.7	7.0	9.7	4.7	7.0
	さくら草橋	10	5.6	7.1	10	5.6	7.4
鴻沼川	櫛引橋	10	3.5	6.6	10	3.5	7.0
	霧敷橋	18	5.5	12	18	5.5	12
	新開橋	9.9	5.5	6.9	9.9	5.5	7.3
笹目川	市立浦和南高校脇	10	3.7	6.6	10	3.7	6.5
藤右衛門川	柳橋	9.9	3.4	5.9	9.9	3.4	6.0
芝川	船橋	7.7	4.2	6.5	7.7	4.2	6.5
	境橋	8.2	4.4	6.9	8.2	4.4	6.7
	大道橋	8.6	3.9	6.7	8.6	3.9	6.5
	八丁橋	9.4	4.3	6.3	9.4	4.3	6.5
深作川	宮ヶ谷塔橋	11	5.1	8.2	11	5.1	8.2
綾瀬川	高野橋	13	5.4	7.9	13	5.4	8.2
	戸井橋	11	5.8	7.8	11	5.8	8.0
	暇橋	14	5.2	8.4	14	5.2	8.8
元荒川	城北大橋	11	4.5	7.7	11	4.5	7.8
	新曲輪橋	11	4.8	7.7	11	4.8	7.9
	永代橋	11	5.2	8.4	11	5.2	8.3
古隅田川	城殿宮橋	10	4.0	5.9	10	4.0	6.3

### 【用語説明】

**DO(溶存酸素)**: 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

**SS(浮遊物質)**: 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

## 令和元年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	7.0	10	9	3	6
鴨川	新大宮バイパス線下	9.4	5.6	7.5	24	4	11
	加茂川橋	9.8	4.5	7.3	21	4	13
	藤橋	12	6.2	8.4	20	5	13
	中土手橋	11	6.1	8.0	40	6	21
	さくら草橋	11	5.6	7.9	22	7	15
鴻沼川	櫛引橋	9.2	3.5	6.1	29	3	10
	霧敷橋	15	7.5	12	6	<1	2
	新開橋	13	5.7	8.9	15	4	9
笹目川	市立浦和南高校脇	10	3.4	6.7	29	3	13
藤右衛門川	柳橋	8.7	3.6	6.2	26	5	11
芝川	船橋	9.3	5.2	7.0	16	1	6
	境橋	9.8	6.3	7.9	27	4	12
	大道橋	8.3	5.3	6.8	31	5	15
	八丁橋	10	5.1	6.8	36	7	21
深作川	宮ヶ谷塔橋	11	5.1	7.9	33	7	17
綾瀬川	高野橋	11	4.7	8.6	110	6	20
	戸井橋	10	6.1	8.5	39	6	19
	暇橋	10	6.1	8.5	37	5	19
元荒川	城北大橋	10	5	8.2	27	6	14
	新曲輪橋	10	7	8.4	22	8	14
	永代橋	10	6.5	8.7	26	9	14
古隅田川	城殿宮橋	8.1	3.9	5.8	24	7	15

※鴨川(学校橋→藤橋):工事の関係で採水地点を一部変更しました。

※藤橋(1月)と加茂川橋(1,2,3月)は工事の関係で欠測となりました。

### 【用語説明】

**DO(溶存酸素)**:水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

**SS(浮遊物質)**:粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

## 令和2年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	6.7	10	12	3	5
鴨川	新大宮バイパス線下	10	5.5	7.7	19	3	9
	加茂川橋	10	5.3	7.5	45	4	16
	藤橋	11	4.5	8.8	24	6	14
	中土手橋	12	5.6	7.8	65	5	25
	さくら草橋	11	5	7.7	21	3	11
鴻沼川	櫛引橋	10	3.2	6.3	19	3	11
	霧敷橋	15	8.6	13	24	1	4
	新開橋	12	6.5	9.0	28	4	11
笹目川	市立浦和南高校脇	9.6	3.9	6.8	14	2	5
藤右衛門川	柳橋	9	5.7	7.1	14	3	7
芝川	船橋	9.6	5.6	7.5	17	3	6
	境橋	12	5.4	8.1	25	3	11
	大道橋	10	5	7.4	32	4	15
	八丁橋	15	4.5	7.7	41	5	18
深作川	宮ヶ谷塔橋	11	5.5	7.9	27	9	18
綾瀬川	高野橋	11	5.1	8.0	57	6	18
	戸井橋	11	5.5	8.4	55	7	21
	暇橋	12	5.9	8.9	81	4	22
元荒川	城北大橋	10	5.9	8.0	18	3	11
	新曲輪橋	11	5.2	8.1	18	3	10
	永代橋	11	6.8	9.2	19	3	11
古隅田川	城殿宮橋	8.9	4.1	6.5	26	10	19

※船橋(1,2月)は工事の関係で欠測となりました。

### 【用語説明】

**DO(溶存酸素)**: 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

**SS(浮遊物質)**: 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

## 令和3年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	17	6.3	9.6	7	< 1	4.2
鴨川	新大宮バイパス線下	10	4.4	7.2	13	4	8
	加茂川橋	15	6	8.9	16	6	11
	学校橋	15	5.4	9.5	23	4	10
	中土手橋	15	5.1	8.2	58	6	22
	さくら草橋	15	4.0	8.2	32	2	12
鴻沼川	櫛引橋	13	3.6	6.4	45	2	10
	霧敷橋	15	8.5	11.8	9	< 1	2
	新開橋	15	5	8.8	18	2	11
笹目川	市立浦和南高校脇	11	2.2	6.6	14	4	8
藤右衛門川	柳橋	10	5.1	7.0	32	1	11
芝川	船橋	7.7	6.6	7.2	8	1	4
	境橋	9.2	6.3	7.6	32	3	10
	大道橋	10	4.4	6.3	47	4	16
	八丁橋	8.9	5.1	6.5	36	6	21
深作川	宮ヶ谷塔橋	14	5.5	8.7	61	4	24
綾瀬川	高野橋	13	5.5	8.1	19	4	11
	戸井橋	14	6.0	8.8	37	4	19
	躰橋	14	6.0	8.5	44	3	17
元荒川	城北大橋	11	4.7	7.7	49	4	14
	新曲輪橋	9.7	5.2	6.8	22	7	14
	永代橋	13	5.7	8.7	39	4	14
古隅田川	城殿宮橋	13	4.1	6.6	35	8	20

### 【用語説明】

**DO(溶存酸素)**: 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

**SS(浮遊物質)**: 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

## 令和4年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	5.7	9.1	22	1	5
鴨川	新大宮バイパス線下	9.7	5.3	7.4	14	2	6.6
	加茂川橋	11	4.8	7.8	30	5	14.3
	学校橋	13	5.3	8.8	16	4	11
	中土手橋	11	4.8	7.8	39	7	17.2
	さくら草橋	12	3.7	7.8	24	4	11
鴻沼川	櫛引橋	9.8	3.3	7.1	21	3	9
	霧敷橋	17	10	13	5	1	3
	新開橋	11	6	8.6	17	4	9
笹目川	市立浦和南高校脇	9.3	4.3	6.6	18	3	8.1
藤右衛門川	柳橋	9.9	4.2	7.0	13	2	6
芝川	船橋	11	4.2	7.1	24	2	9
	境橋	11	5.6	6.9	10	3	7
	大道橋	10	4.3	6.1	35	5	15
	八丁橋	12	4.6	6.8	26	5	15
深作川	宮ヶ谷塔橋	14	5.9	8.4	49	8	22
綾瀬川	高野橋	11	5.5	7.8	29	3	13
	戸井橋	10	5.1	7.7	31	7	15
	啜橋	12	6.4	8.4	28	4	15.5
元荒川	城北大橋	10	6	7.9	18	2	10
	新曲輪橋	11	6.4	8.5	32	3	11
	永代橋	11	5.9	8.6	28	1	10
古隅田川	城殿宮橋	10	3.4	6.5	22	8	13

### 【用語説明】

**DO(溶存酸素)**: 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

**SS(浮遊物質量)**: 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。